

●令和7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定

課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の値	単位の数	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
③学校と家庭の課題	放課後等における多様な体験活動	地元を中心とした幅広い人との交流が薄い状態である。そのため、継続して参加している児童もいる中で体験もマンネリ化しつつある。	地元の自治会や関係団体等に市からも広く声掛けをし、年1回でも児童と交流をしてもらい、スポーツ、福祉・文化芸術など様々な分野の体験活動を取り入れる。	体験活動がマンネリ化しているため、参加児童に行っているアンケートの結果をもとに興味・関心がある分野の体験活動の機会を設ける。	学校生活では味わえない体験ができ、活動を通して地域との交流も増える。	地元での講師・ボランティアの参加人数	34	人	40	41	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた 実績値は目標値をわずかが上回ることができた。今年度も地域の協力を得て、琴や和太鼓など、伝統文化に触れる機会を創出できたが、すべての教室ではなく、偏りがある。令和8年度もマンネリ化せず、継続して参加している児童も楽しめるよう昨年度と異なる体験活動を企画していきたい。